



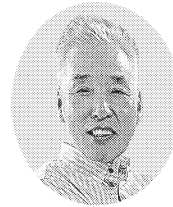
* C C 1 2 0 7 0 9 0 0 0 0 0 4 7 2 *

25日付 山城A朝刊通し
2017年08月23日18時15分29秒
PDFゲラ出力

◎E・新随想箱
ID=CC12070900000472
校正回数=56 95倍 0× 22行 0

随想やましろ

クリニックの玄関に「カフェ頼政道」のチラシが
おいてあります。ご覧になった患者さんから「カフェってなんですか」と質問されることがあります。「音楽を楽しんだり、勉強したり、一緒に
お茶やご飯をするところ
です」とお話ししたり、



門阪 庄三

地域づくりの拠点で、高齢者の支え合いの居場所ですと説明したりしています。正確にはコミュニティー・カフェと言いますと答えますが、この説

明だけではわかりにくい
です。 カフェといえばパリの街中のしゃれたカフェを

暮らしの中のカフェ

すが、多くのカフェはボランティア精神によって運営されています。例えば認知症の方や家族の方が同じテーブルを囲みま
す。私が代表している「カフェ頼政道」は民家をお借りして、日
曜にランチと
イベント、水曜日には「暮らしの保健室」や「椅子ヨガ教室」も英会話教室
茶を、土曜日にも英会話教室
霧間気をカフェという言葉がうまく伝えているの
でしよう。みなさんも一度参加されてはいかがでしょうか。



「咲きました」
(わの絵てがみクラブ
内野由美)

たちが放課後に集まる子供カフェなどがよく知られています。教室を開いています。このようなカフェが地域に生まれる理由はなん
でしよう。おそらく私たちの住む地域にさまざま

六地藏商店街で2カ月に催している「ふれあ
ちの住む地域にさまざま

+

+